



2016年5月

① 2016 予算要望回答書 & 「災害」と「超高齢化」の課題に向かう

② 一万食規模の「小中統合大規模センター」の建設に反対し

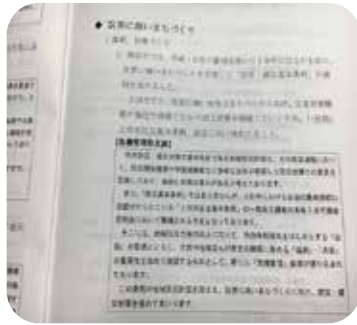
学校給食運営審議会の答申を尊重した学校給食の実現を求めます

学校給食シリーズ part4

メールアドレス: masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 【わたなべ正博後援会】

昨年12月母袋市長に提出した「2016年上田市政と予算要望」に関する「回答書」が3月25日届きました

「災害に強いまちづくり」などの重点6課題43項目の要望（提案）。「高齢者対策」「農林業振興」「教育行政」など18分野136項目の要望（提案）に対する回答です。



毎年のことながら上田市職員にみなさんには感謝

重点項目では、「災害ハザードマップの内容を分かりやすく説明するために、出前講座など自治会ごとに説明会を開き市民に周知すること」を提案したことに対し、回答書では、全戸配布するとともに出前講座等の開催につきましては、自治会からの要望に応えるかた

ちで実施したいと考えている。

分野別課題では、「小中学校施設の耐震化を早期に終了すること」これに対し、現在進めている川西小学校、本原小学校、第三中学校、第四中学校の改築改修事業が平成28年度に終了予定で、これをもってすべての学校施設の耐震化が完了となる。等々です。



政務活動費で印刷製本したものです

上田市の行政水準がはかれる貴重な資料と考えています。必要と思われる方には是非ご一読いただければ幸いです。お譲りいただきしますので渡辺まで申し出下さい。

「災害」「超高齢化」この2つの課題に政治は自治会は...

ふと考える

地球温暖化が今後ますます加速して、異常気象がいつでも起きる不安定な時期になるといわれています。そして、熊本地震です。国は、防災庁の検討を始めるとのことですが、今国民が直面している命の危険は「自然災害」で当然です。

同時に、超高齢化の中で自治会には2つの備え「防災」と「地域福祉」が求められていると考えます。

この間の自然災害であらためて隣近所の助け合いや支えあい、重要であることも各地の事例として多く見られました。

一方でマイカー、コンビニ、SNSがあれば隣人との付き合いは不要ともおもわれることも多いのが現実ではあります。

といった矛盾もあります。自治会の組織運営の改革や行政が地縁組織である自治会との共同の関係を、どう築いていけばいいのかわからないという「住民と自治」の根本問題について、考えていかなくてはならないそういう時期にきているのかなと感じています。

くらし・困りごと  
なんでも相談  
気軽に声をかけてください

わたなべ正博のノート

- 1日 第87回メーデー
- 2日 長野市で会議
- 3日 浅間池水系「水路の泥上げ」
- ・憲法記念日上田駅前街演
- ・モルティール塩田前「SD行動」
- ・浅間池「水土里計画策定」
- ・渡辺家関係者「焼き肉会」
- 4日 「千晶・由佳」の上田駅水車前街演
- 5日 千曲市で会議
- 6日 「アベ政治を斬る」五十嵐仁氏
- 7日 浅間池水神祭
- 8日 長野市で会議
- 9日 議会会派代表者会議
- 10日 「小島交差点」朝宣伝
- ・観光振興議員連盟「視察対応」
- 塩田水神祭
- 11日 「長野大学公立大学法人化」に関する市民懇談会
- 12日 観光振興議員連盟「視察対応」
- 13日 「視察対応」観光振興議員連盟
- 14日 モルティール塩田街演
- 15日 東塩田地区振興会総会
- 16日 上田駅前モーニングスピーチ
- ・別所線存続期成同盟会総会
- 17日 「仁古田交差点」朝宣伝
- ・観光振興議員連盟「視察対応」
- 18日 党全県地方議員会議「新潟」
- ・獅子舞保存会「全国植樹祭出演の打ち合わせ」
- 19日 「半田考淳氏」上田市葬
- ・東塩田自治連要望事項調整会議
- 20日 「上田市議会」熊本地震救援上田駅前街頭援募金活動
- 21日 モルティール塩田街演
- 22日 党演説会「松本城公園」
- 23日 「神畑交差点」朝宣伝
- 24日 定期検診「生協診療所」
- 25日 観光振興議員連盟「視察対応」
- 26日 モルティール塩田街演
- 27日 消防15分団ポンプ操法大会
- 28日 上田駅前モーニングスピーチ
- 29日
- 30日

(5月10日現在)

【5月】

090-1554-2698

①上田市学校給食運営審議会の答申に反する「今後の学校給食運営方針」の「統合・大規模センター」の建設は行わないこと。 ②「単独調理場方式（自校方式）が望ましい」とした答申を尊重することを求める【署名】が始まっています。

(子どもたちをはぐくむ学校給食をめざす会)

**声**

◎「広報うえだの記事を見ました。私は、基本的には反対ですが、上田市の財政状況や人件費など鑑みて、福祉や介護にまわせるお金が捻出できないのであればしかたない」

(東塩田保護者)

◎「嫁の意見ですが、給食を作っている人の顔が見える。作りたてが食べられる。雇用確保。一番は独自の給食メニュー、子どものお好み給食松茸とか花見とか。給食のおぼさんの定期的なお便りは好評です。俺もどちらかといえば反対かな・・・。松茸ご飯はよかった」

(東塩田保護者)

◎「子どもが楽しみにしています。それをなくさないでください」でもお金がねえ・・・」

(川辺町保護者)

**かかる経費は変わらない**

教育委員会資料

「子どもたちをはぐくむ学校給食をめざす会」資

料によると、設営費（設置と運営の費用）は、「自校給食方式」でも、ほとんど変わらない。としています。

その根拠は、審議会では、食育から運営に至るまでの「センター方式」と「自校方式」について、整備後40年間にかかる経費を、教育委員会提出の資料に基づき比較検討した結果、ほとんど差が無いことを確認したうえで、「旧市内の16小学校は自校給食がのぞましい」と答

申しました。センター方式では、設置する調理器具（特注）が高額ばかりでなく、メンテナンス費用も高額になり、更には「配送に関する経費」の負担も大きく加わります。（3月議会で質問）

**「親子給食方式」も提言**

それでももし「経営面で過大な負担が生じる場合には、別の方法として

「近隣の学校の給食施設から配送する方法（親子給食方式）や複数校の給食を共同で調理する方法（小規模模センター）」も提言しています。

**論外の方針だ**

今回の一万食の「大規模の統合給食センター」は、10回もの協議を重ねた審議会でも一度も検討されていません。

「子どもたちをはぐくむ学校給食をめざす会」は全くの論外の方針だとしています。

**中規模だからこそ給食の質が実現**

限りなく自校方式に近い現在の上田市の「給食の質」は、4000〜6000食程度の「中規模センター」だからこそ実現可能であり、上田市独自の職員の勤務体制の工夫（宿直制度）などによって支えられています。

「大規模センター」方式では、こうした努力が果たして可能かどうか、施設面でも人的体制面でもコスト面でも、きちんとした検討はこれからということですが、本当に実現できるかどうか不明です。

**「大義」はどうに**

また献立も大きく制約されることは、同じ「大規模・3コース制」の松本市の給食センターで、「揚げパンは小中9年間で1度だけ」という現状からも明らかです。

細心の注意が必要な食物アレルギー対応についても、22の小中学校・一万食もの大規模な統合給食センターで、きめ細かい対応が実現可能なのか、疑問と不安を感じます。

アレルギー対応の規模は、小さければ小さいほど安全であることは言うまでもなく、この方針に「大義」がありません。

PCディスプレイから



我が家の3兄弟仲は良さそうだ。安心!

上田市議会観光振興議員連盟「おもてなし議員隊」



小金沢ゆか 衆院長野3区予定候補



いつもの・・・



人口統計表	
5月1日現在	
総人口	159,367人
男	77,996人
女	81,371人
世帯数	66,552戸

今年5月の人口